

令和6年度 市政経営の概要《施策と予算》 抜粋版

基本構想まちの将来像

ともに生き ともに創る 彩りのまち調布

彩りの花開くまち調布のイメージ
8色の花びらでまちの将来像表現
に向けた8つの基本目標を表現



基本構想キャッチコピー ちょうふ みらい
調布×未来 CHOFUTURE

1 予算規模

1 令和6年度に向けた市政経営の基本方針に基づき、前期基本計画の2年目として、重点プロジェクトを基軸に各施策・事業を着実に推進するとともに、引き続き、市民の安全・安心の確保と市民生活への継続的な取組、新たな課題や制度改正への対応など、中長期的な視点からの予算を編成しています。

令和6年度の一般会計予算の総額は、1065億円で、前年度と比較して67億3000万円、6.7%の増となっています。

2 特別会計及び公営企業会計については、一般会計同様、収入の確保や経費の抑制に努め、効果的・効率的な予算を目指しています。

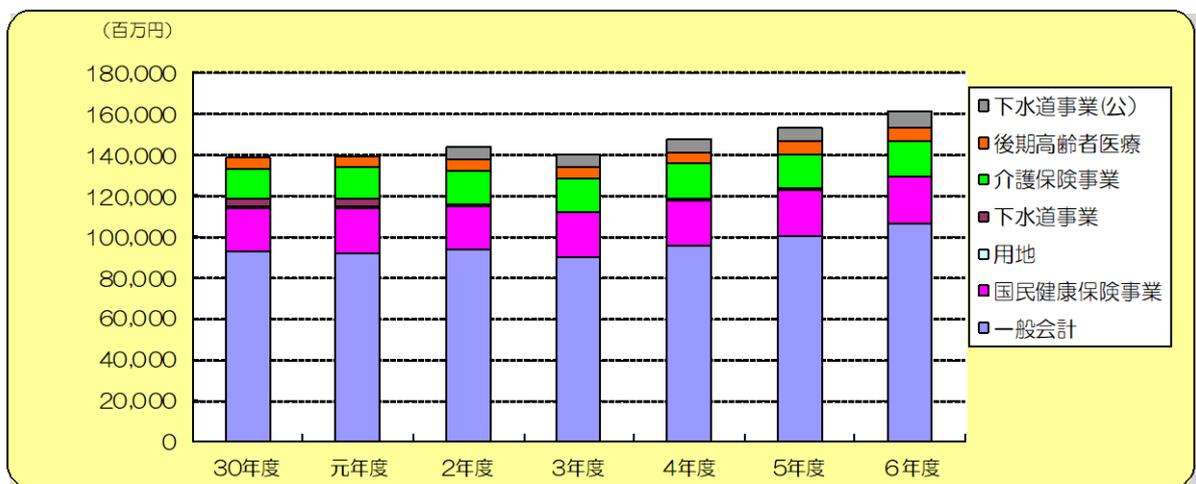
3 一般会計に特別会計及び公営企業会計を合計した調布市の全会計の予算規模は、1604億8000万円余、前年度と比べ78億2000万円余、5.1%の増となっています。

(1) 一般会計・各特別会計・公営企業会計当初予算の推移 (単位: 百万円, %)

会 計	6年度	5年度	増減額	増減率
一 般 会 計	106,500	99,770	6,730	6.7
特 別 会 計	46,361	45,996	365	0.8
国民健康保険事業	22,445	22,356	89	0.4
用 地	325	1,038	▲ 714	▲ 68.7
介護保険事業	17,225	16,584	641	3.9
後期高齢者医療	6,366	6,017	349	5.8
公 営 企 業 会 計	7,620	6,887	733	10.6
下 水 道 事 業	7,620	6,887	733	10.6
合 計	160,480	152,652	7,828	5.1

※下水道事業は令和2年度から公営企業会計に移行。予算規模は収益的支出と資本的支出の合計。

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
一般会計	92,540	91,810	92,990	90,120	95,270	99,770	106,500
特別会計	45,047	46,660	44,226	43,603	45,378	45,996	46,361
国民健康保険事業	21,261	21,222	21,103	21,190	21,840	22,356	22,445
用地	46	1,034	1,106	170	1,138	1,038	325
下水道事業	3,640	3,467	-	-	-	-	-
介護保険事業	14,922	15,659	16,595	16,740	16,711	16,584	17,225
後期高齢者医療	5,177	5,278	5,422	5,504	5,689	6,017	6,366
公営企業会計	-	-	5,756	6,472	6,323	6,887	7,620
下水道事業(公)	-	-	5,756	6,472	6,323	6,887	7,620



2 歳入・歳出予算の状況

令和6年度一般会計予算額は、歳入・歳出総額1065億円で、前年度と比較して67億3000万円、6.7%の増となっています。

歳入の根幹となる市税収入は、定額減税に伴い個人市民税が減となっているものの、法人の業績が堅調であることなどによる法人市民税の増、評価替えに伴う地価の上昇や新築家屋の増等による固定資産税の増などにより、市税総体では、前年度と比較して、11億円余、2.3%の増となる488億2000万円余を見込んでいます。

また、主要な一般財源である各種譲与税・交付金は、定額減税に伴う個人市民税の減税補填として、地方特例交付金の増収が見込まれることなどから、前年度と比較して17億1000万円余、21.6%の増となる96億4000万円余を見込んでいます。

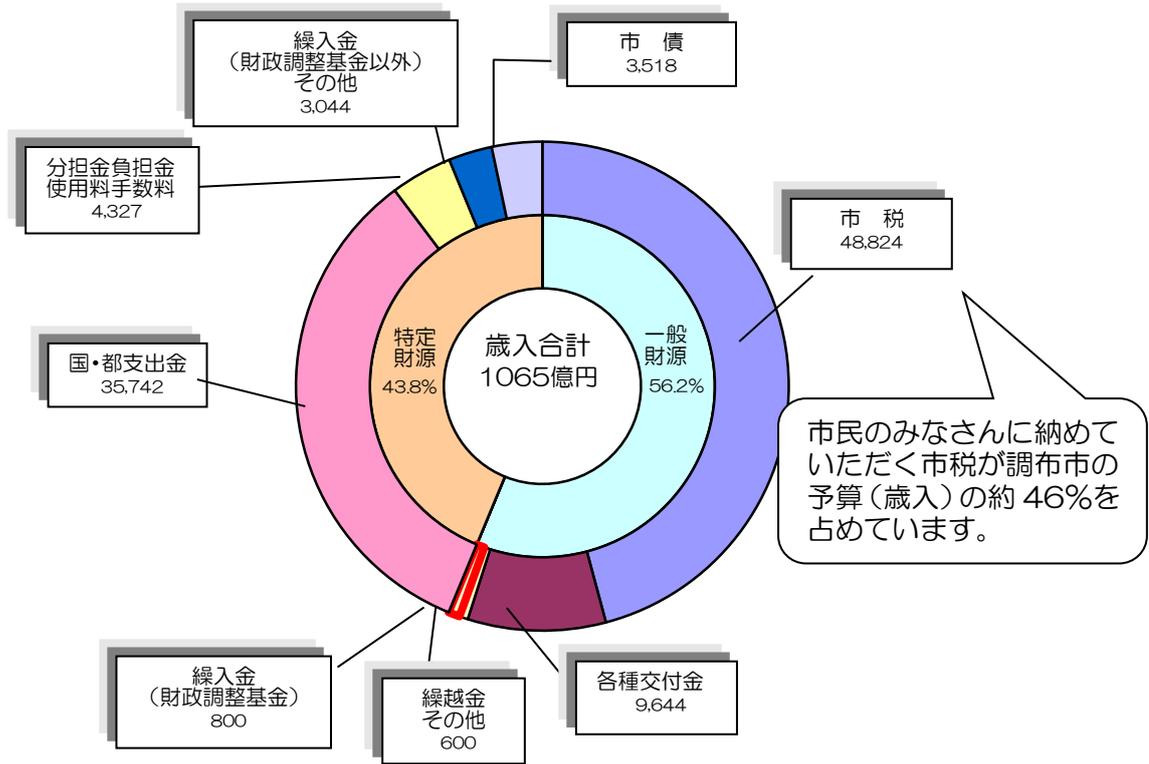
歳出では、前期基本計画の2年次目として、5つの重点プロジェクト事業をはじめ、基本計画の着実な推進を図るとともに、市政の第一の責務としての市民の安全・安心の確保と市民生活支援への継続的な取組などに財源の重点配分を行っています。

① 歳入歳出予算の状況（単位：百万円、%）

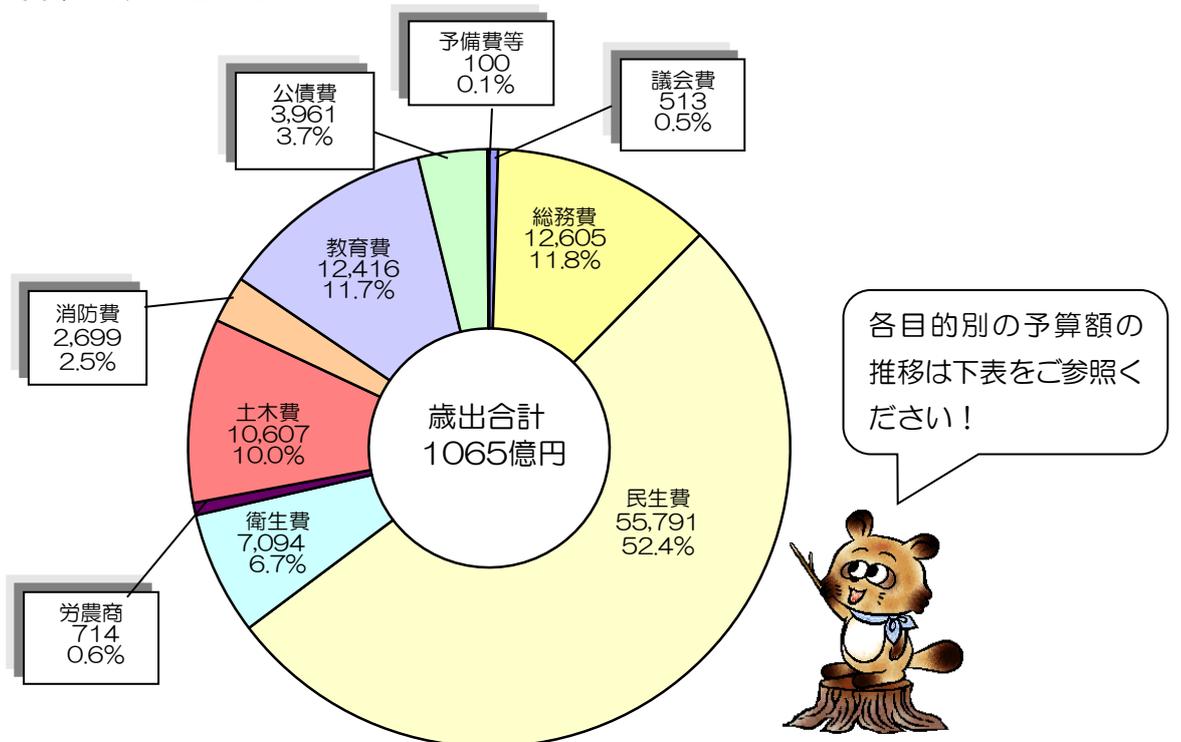
区分	6年度	5年度	増減額	構成比	増減率
歳入	106,500	99,770	6,730	100.0	6.7
5 市 税	48,824	47,723	1,101	45.8	2.3
10 地 方 譲 与 税	367	367	1	0.3	0.1
15 利 子 割 交 付 金	80	70	10	0.1	14.3
16 配 当 割 交 付 金	500	400	100	0.5	25.0
17 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	520	390	130	0.5	33.3
18 法 人 事 業 税 交 付 金	850	700	150	0.8	21.4
19 地 方 消 費 税 交 付 金	5,800	5,600	200	5.4	3.6
20 ゴルフ場利用税交付金	7	7	0	0.0	0.0
31 環 境 性 能 割 交 付 金	77	77	0	0.1	0.0
33 地 方 特 例 交 付 金	1,369	249	1,120	1.3	449.8
35 地 方 交 付 税	50	50	0	0.0	0.0
40 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	24	24	0	0.0	0.0
45 分 担 金 及 び 負 担 金	1,777	1,875	▲ 98	1.7	▲ 5.2
50 使 用 料 及 び 手 数 料	2,550	2,449	102	2.4	4.1
55 国 庫 支 出 金	19,669	16,919	2,750	18.5	16.3
60 都 支 出 金	16,073	14,454	1,619	15.1	11.2
65 財 産 収 入	172	139	33	0.2	23.9
70 寄 附 金	25	25	0	0.0	0.0
75 繰 入 金	3,185	3,459	▲ 274	3.0	▲ 7.9
80 繰 越 金	500	500	0	0.5	0.0
85 諸 収 入	562	552	10	0.5	1.8
90 市 債	3,518	3,742	▲ 224	3.3	▲ 6.0

区分	6年度	5年度	増減額	構成比	増減率
歳出	106,500	99,770	6,730	100.0	6.7
5 議 会 費	513	515	▲ 3	0.5	▲ 0.5
10 総 務 費	12,605	11,404	1,201	11.8	10.5
15 民 生 費	55,791	51,929	3,862	52.4	7.4
20 衛 生 費	7,094	7,440	▲ 346	6.7	▲ 4.6
25 労 働 費	50	55	▲ 5	0.0	▲ 9.5
30 農 業 費	127	144	▲ 17	0.1	▲ 11.9
35 商 工 費	537	450	88	0.5	19.5
40 土 木 費	10,607	9,984	622	10.0	6.2
45 消 防 費	2,699	2,725	▲ 27	2.5	▲ 1.0
50 教 育 費	12,416	11,192	1,224	11.7	10.9
60 公 債 費	3,961	3,832	130	3.7	3.4
65 諸 支 出 金	0.163	0.163	0	0.0	0.0
90 予 備 費	100	100	0	0.1	0.0

【歳入（財源区分別）（単位：百万円）】



【歳出（目的別）（単位：百万円）】



3 主な新規・拡充事業

1 安全・安心の確保への取組

(1) 市内の擁壁・がけ・崖線樹林地の安全対策

〈総務部・環境部・都市整備部〉 **新規拡充** 1億1300万円

土砂災害等のリスクのある市内の宅地及び公有地の擁壁・がけ・崖線樹林地への総合的な安全対策を実施。(3D点群データ取得により実態調査擁壁築造工事費助成、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)における土砂災害アドバイザー派遣及び対策工事費助成など)

(2) 犯罪抑止対策の推進〈総務部〉 **拡充**

5500万円

青色防犯パトロールカーによる子ども安全・安心パトロールを継続するとともに、街頭防犯カメラを有効活用することで、犯罪の抑止効果を高めます。また、令和6年度は、特殊詐欺被害の防止に向けて、5つの対策を実施します。金融機関等のATM周辺への人員配置(サギパト隊員)による啓発活動のほか、自動通話録音機の貸出し及び闇バイト防止対策、オートコールシステムを活用(実証実験)した取組、民間企業等との連携による意識啓発など、市独自の対策を強化します。

(3) 3D都市モデルを活用した浸水リスクの可視化による意識啓発〈総務部〉 **新規** 1000万円

豪雨時における災害リスクの認知と適切な避難行動、防災力の向上を図るため、3D都市モデル及び三次元化した内水浸水想定区域図のデータ等を活用し災害リスクを分かりやすく可視化するシステムを構築。

2 子ども・子育て家庭への支援の充実

(1) 市立小・中学校の給食費の無償化〈教育部〉 **新規**

9億5400万円

市立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、東京都補助事業を活用して、給食費を全額公費により負担。

(2) 保育サービスの充実〈子ども生活部〉 **新規拡充**

4300万円

認可保育園の0歳児の空き定員及び1歳児の定員増に対する保育園運営費補助を実施するほか、認証保育所の0歳児の空き定員等を活用し、保育ニーズの高い1歳児の受入を増やすことに伴う運営費減額分を補助することで、効果的な待機児童対策及び運営の安定化を図る。

(3) 幼稚園における預かり保育利用者への支援〈子ども生活部〉 **拡充**

5200万円

私立幼稚園等に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するとともに幼稚園教育の振興を図るなかで、預かり保育利用料に対する給付を新たに市独自で上乗せして実施。

(4) 子ども・若者総合支援事業「ここあ」の拡充〈子ども生活部・福祉健康部〉 **新規拡充** 9600万円

不登校・無業・ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者を対象に行っている「相談支援」「居場所提供」「学習支援(中学生)」において、相談体制強化、相談管理システム導入及び学習環境向上(軽食提供)を行う。

(5) 不登校児・生徒への支援の充実〈教育部〉 **新規拡充**

4600万円

小学校適応指導教室「太陽の子」や中学校不登校特例校分教室「はしうち教室」の運営や、訪問型支援「みらい」を引き続き実施するほか、新たに、校内別室指導員を配置し、学校における教室以外の居場所での支援の充実を図る。

3 脱炭素社会の実現への取組（地球温暖化対策の推進）

(1) ゼロカーボンシティに向けた具体的取組の推進〈環境部〉**新規** 1億1300万円

ゼロカーボンシティ（脱炭素社会）の実現に向けて、公共施設（46施設）で使用する電力の再生可能エネルギー100%電力への切替や、市民向け電気自動車充電設備の整備を行う。また、市民・事業者等で構成するオール調布の連携の取組として「(仮称)ゼロカーボンシティ調布推進協議会」を設置し、更なる省エネ・再エネ導入促進策を検討するとともに、調布市地球温暖化対策実行計画策定に向けた準備を進める。

4 デジタル技術の活用推進

(1) 図書館におけるICタグシステムの導入〈教育部〉**新規** 1億3300万円

市民の生涯学習・文化・生活の情報の拠点として、暮らしに役立つ魅力ある図書館を目指して、資料・情報を選定し、収集・提供の充実を図る。また、令和6年度は、ICタグシステムを導入し、文化会館たづくりにより予約本受取コーナーを設置する。

(2) 市役所の一部窓口や各種業務におけるデジタル活用の推進
〈総務・福祉健康部〉**新規** 1400万円

市役所窓口の一部（保険年金課など）電話対応においてICT活用を推進する（申請書自動作成機器、電話自動応答システムの導入）。また、母子健康手帳アプリを導入し、電子媒体による健康管理や子育て情報の掲載などを通して子育て環境の充実を図る。さらに、デジタル技術を活用した防災備蓄品の管理を行う。

5 総合的ながん対策の推進

(1) がん患者への総合的支援の実施〈福祉健康部〉**新規拡充** 6億6700万円

がん患者における外見の変化を補完するためウィッグ等購入費の助成額を増額するほか、アフラックの社会貢献事業として令和5年10月から実施しているがん相談（がん患者及びその家族への相談サポート）を市のモデル事業として開始するなど、がん検診の充実と合わせて総合的ながん対策を推進する。子宮頸がん検査については、20歳代を対象に、子宮がんの主な原因であるHPV（ヒト・パピローマ・ウイルス）セルフチェック検査等を用いた個別受診勧奨も行う。また、新たに男性に対するHPVワクチン接種費用の助成を行う。

6 まちづくりの推進

(1) 調布駅前広場及び鉄道敷地の整備〈都市整備部〉**継続** 16億8400万円

京王線調布駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点機能を向上させるとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間を創出する。令和6年度は、広場整備工事、南側上屋工事及び広場口工事等を進める。また、京王線の地下化により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、市民交流やにぎわい創出など各ゾーンの特性を生かしながら鉄道敷地の整備（緑道の工事等）を進める。
※令和7年度に一部を除き完成予定

(2) 東部地域における交通環境改善事業の促進に向けた検討〈都市整備部〉**拡充** 8500万円

つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺における道路交通の円滑化を図るため、都市計画道路の整備や道路と鉄道の連続立体交差事業の促進により、地域の利便性や安全性の向上に取り組む。

7 公園・緑地・崖線樹林地の保全

(1) 深大寺・佐須地域の里山，水辺環境の保全・活用〈環境部〉**拡充** 3億8100万円

里山や公有地化した土地を活用して自然体験型の環境学習を実施するなど，都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を市民団体，事業者との協働により推進する。また，深大寺・佐須地域農業公園を開園する。

8 障害者福祉施設の整備

(1) 障害福祉施設の開設及び整備〈福祉健康部〉**拡充** 4億8000万円

重症心身障害者の通所施設となる「(仮称) デイセンターまなびや国領」を国領7丁目に令和6年4月から開設・運営するとともに，同施設内に，障害者の多様な就労ニーズに対応した訓練プログラム等を行う新たな通所施設「(仮称) ワークライフカレッジすとっく」を併せて開設・運営する。

さらに，調布基地跡地における，三鷹市，府中市，調布市の3市で連携した取り組みとして，重症心身障害者及び重度知的障害者の通所施設の整備に向けた取り組みを進める。

9 その他

(1) 近藤勇生誕190周年に合わせたマンホール蓋の製作・活用
〈生活文化スポーツ部・環境部〉**新規**

300万円

近藤勇・生誕190周年に合わせ，生誕地である西調布駅周辺においてデザインマンホール蓋を設置し，下水道事業に関する情報発信の強化とともに地域活性化を図る。

(2) 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進〈生活文化スポーツ部〉**拡充** 1億800万円

名誉市民・水木しげる氏の作品や世界観を後世に伝えつつ，「水木マンガの生まれた街 調布」のさらなる推進につなげるため，新たな事業展開や水木氏の作品に触れる機会の創出に注力することで，子どもから大人まで幅広い世代に興味を持ってもらい，認知度向上による新たなファン層の獲得を図る。令和6年度は新たな取組として，調布駅そばの天神通り商店街内のトランスボックスに水木作品を活用したデザインラッピングを施す。

4 5つの重点プロジェクト

基本計画に位置付けた5つの重点「安全・安心に暮らせるまち」「調布の宝である子どもたちを応援するまち」「誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち」「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」「人と自然がおりにあすうるおいあるまち」により、重点プロジェクト事業を推進します。

<1> 安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト

- 自助・共助の取組を推進する中、公助の取組と地域や関係機関及び他自治体等との災害時における連携体制の強化や、犯罪を未然に防止するための取組の推進により、防災・減災対策の強化や地域防犯力の向上を図ります。
- 災害時における緊急輸送道路の機能確保、住宅の耐震化促進、下水道施設の浸水対策や耐震化など、市民の暮らしに安心感をもたらすことができる都市基盤づくりを進めます。

■主な取組

① 地域の防災・防犯力を高める

◇ 地域防災力の向上（基本計画事業 No.1）＜総務部＞ 1,700万円

自治会や地区協議会、防災市民組織など、地域における多様な共助組織が訓練等を通じて、それぞれ有機的な連携を図ることにより、災害対応能力の向上を図ります。

◇ 調布市避難行動要支援者避難支援プランの推進（基本計画事業 No.2）＜福祉健康部＞※拡充 1,000万円

災害時における避難行動要支援者（災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等）の避難支援プランに基づき、対象者の名簿を整備し、消防、警察、民生委員・児童委員、福祉関係団体、地域で活動する組織等との平常時からの連携に努め、災害時における体制の整備を進めます。引き続き、避難支援プランの推進のため、新規協定締結団体が安否確認等に要する備品等の購入経費を補助します。また、災害対策基本法の改正を踏まえて、避難支援プランを改定します。

◇ 防災備蓄品の配備及び利活用（基本計画事業 No.3）＜総務部＞ 3,400万円

防災備蓄品について、フェーズフリーの考えやローリングストックの視点を取り入れながら地域防災計画に則した防災備蓄品の確保・充実を図るほか、中距離自治体相互協力協定や民間企業との連携を検討します。
令和6年度は、防災備蓄のデジタル管理を導入します。

◇ 災害情報システム等の効果的な活用（基本計画事業 No.4）＜総務部＞ 3,900万円

災害時の迅速な情報伝達手段の確保のほか、災害時に市民が適時的確に情報収集できるよう、あらゆる世代に対応した複数の情報伝達手段の整備に努めます。

◇ 消防団の災害対応能力の向上（基本計画事業 No.7）＜総務部＞ 5,000万円

「地域・社会に貢献する調布市消防団の活動に感謝応援するまち宣言」を踏まえ、団員の活動環境整備に取り組むとともに、施設の改善、装備品の充実を図ります。
令和6年度は、消防ポンプ車（第2分団）の更新及び第3分団機械器具置場の建替えに係る測量を実施します。

◇ 命の教育活動の推進（基本計画事業 No.23）＜教育部＞ 400万円

児童・生徒に対する「命」の授業や防災に関する講話、訓練等を実施する「調布市防災教育の日」の取組を市立小・中学校全校及び大町スポーツ施設において、一斉に実施します。また、普通救命講習を小学校6年生・中学校3年生を対象に実施するとともに、市立小・中学校全教員の上級救命講習の認定を目指します。さらに、各校2人程度の応急手当普及員を育成します。

◇令和6年度「調布市防災教育の日」 令和6年4月27日（土）実施予定

※市統一テーマ「避難所開設訓練」

◇ 犯罪抑止対策の推進（基本計画事業 No.9）＜総務部＞※拡充 5,500 万円

青色防犯パトロールカーによる子ども安全・安心パトロールを継続するとともに、街頭防犯カメラを有効活用することで、犯罪の抑止効果を高めます。また、令和6年度は、特殊詐欺被害の防止に向けて、5つの対策を実施します。金融機関等のATM周辺への人員配置（サギパト隊員）による啓発活動のほか、自動通話録音機の貸出し及び闇バイト防止対策、オートコールシステムを活用（実証実験）した取組、民間企業等との連携による意識啓発など、市独自の対策を強化します。

② 災害に強い都市基盤をつくる

◇ 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業（基本計画事業 No.5）＜都市整備部＞ 7,800 万円

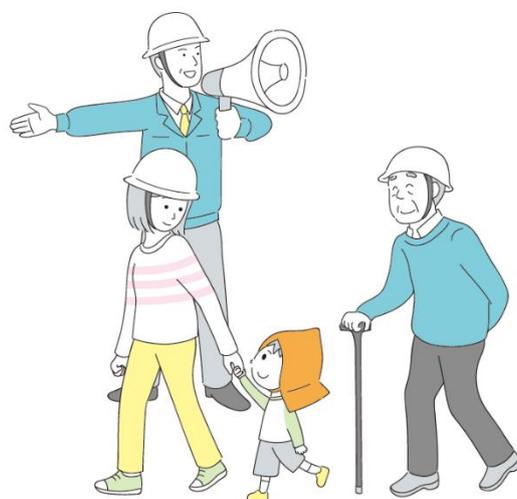
震災時に救急・救命活動や支援物資の輸送等、緊急輸送道路としての機能を確保するため、東京都耐震改修促進計画で定める特定緊急輸送道路並びに一般緊急輸送道路の沿道建築物のうち、倒壊する危険性が高く、倒壊した場合に道路を閉塞する可能性が高い建築物の耐震化を図ります。

令和6年度は、新たに一般緊急輸送道路沿道建築物に対する補助制度を創設します。

◇ 下水道施設における浸水・地震対策の推進（基本計画事業 No.6）＜環境部＞ 7,000 万円

雨水管理に関する総合的な計画を策定し、市内全域の浸水対策に取り組みます。また、震災時における下水道施設の機能確保を図るため、管路の耐震診断等の地震対策を進めます。

令和6年度は、令和元年台風第19号の再度災害防止に向け、狛江市との連携により、大規模ポンプ設置等の基本設計及び詳細設計を行うほか、雨水管理総合計画策定に向けた調査・検討を進めます。また、地震対策基本方針を踏まえた下水道施設における地震対策計画を策定します。



＜2＞ 調布の宝である子どもたちを応援するまちをつくるプロジェクト

- 地域の中で安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを進めます。
- 次代を担う子どもたちがそれぞれの個性を伸ばすとともに、学力の習得や心身の育成など、安心して学び、成長できる環境づくりを進めます。
- 子ども・若者の一人一人を取り巻く状況に応じて、地域で支える環境づくりを進めます。

■主な取組

① 子育て環境を充実させる

◇ 出産・子育て応援事業（基本計画事業 No.12）＜福祉健康部＞※拡充 3億6,900万円

全ての子育て家庭に対し妊娠期から専門職が関わることにより、出産・子育てに関する不安を軽減します。ゆりかご調布面接は、支援が必要な妊婦の早期発見・支援につなげることを目的とするほか、産後ケア事業を実施し、地域における専門機関等とのネットワーク構築を推進します。また、更なる切れ目ない支援の充実及び経済的支援の一体的な取組として「ようこそ調布っ子サポート事業」を実施します。

令和6年度は、産後ケア事業において、多胎児家庭等における利用回数を増やし、出産後の妊婦に対する支援の充実を図ります。また、バースデーサポート事業においては、1歳前後の子どもがいる家庭を対象にした情報提供や相談対応を行い、子育て家庭を支援します。多胎児家庭支援事業においては引き続き、多胎児家庭が母子保健事業を利用する際の移動に要する費用の補助や、相談支援を行うことと併せて、多胎妊婦を対象に、追加で受診が必要な妊婦健康診査費用の一部を助成します。妊娠や出生の届出を行った妊婦等に対しては、出産育児関連用品の購入費の助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援（15万円相当の出産・子育て応援ギフト）を一体として実施します。

さらに、令和6年度から母子健康手帳アプリを導入し、電子媒体による健康管理や子育て情報の掲載等を行います。

◇ 子どもの医療費助成（基本計画事業 No.13）＜子ども生活部＞ 14億300万円

乳幼児期から高校生世代までの医療費を全額助成し、子育て家庭を支援します。

◇ 児童虐待防止センター事業の推進（基本計画事業 No.14）＜子ども生活部＞※拡充 4,100万円

子ども家庭支援センター「すこやか」を拠点に実施している児童虐待防止センター事業について、関係機関と連携を図りながら、児童虐待の早期発見・予防的支援等により、虐待防止に取り組むとともに、人員の拡充をはじめとする相談体制の強化を図ります。

◇ 保育サービスの充実（基本計画事業 No.15）＜子ども生活部＞ 2,800万円

調布っ子すこやかプランに基づき、既存認可保育園の定員変更や年度限定型保育事業の実施など、既存施設の活用を中心に、多様な保育ニーズに対応するための施策を検討します。

令和6年度は、待機児童が生じている1歳児の定員増に取り組む認可保育園への補助を実施するなど、引き続き待機児童対策を推進します。

◇ 学童クラブ施設の整備（基本計画事業 No.16）＜子ども生活部＞ 900万円

学童クラブと「あそびバ」の利用状況を把握しながら、定員超過受入れや施設整備を中心としたソフト・ハードの両輪での総合的な放課後対策を推進します。

令和6年度は、新規に賃借による1箇所の整備及び1箇所の設計を行います

② 学校教育を充実させる

◇ ICT環境の整備・活用と情報教育の推進（基本計画事業 No.17）＜教育部＞※拡充 6億8,700万円

文部科学省が示す第3期教育振興基本計画及びGIGAスクール構想に基づき整備してきた、教員用端末や教室におけるICT機器及び児童・生徒1人1台端末を授業等で利活用することにより、学習指導要領に示された情報活用能力の育成と個別最適化された学びの実現につなげていきます。

令和6年度は、増教室に対する固定式プロジェクターの設置等の環境整備に引き続き取り組むほか、教員用端末及びサーバー群、各種ネットワーク機器等で構成する教育情報システムを更新し、クラウドサービスを導入するとともにセキュリティを強化することで、ICT活用による更なる教育の質の向上を目指します。

◇ 特別支援教育の推進（基本計画事業 No.19）＜教育部＞※拡充 1億8,000万円

特別な支援を要する児童・生徒に対し、スクールサポーターの小・中学校全校配置等により、個々の状況に応じた教育的支援を行います。

令和6年度は、第2期特別支援教育推進計画に基づいた取組を進め、令和6年4月に北ノ台小学校に特別支援学級を開設します。

◇ 不登校児童・生徒への支援（基本計画事業 No.20）＜教育部＞※拡充 4,600万円

増加する不登校児童・生徒への対応として、様々な支援を実施するとともに、中学校適応指導教室（教育支援センター）の設置について検討し、支援の充実を図ります。

令和6年度は、小学校適応指導教室（教育支援センター）「太陽の子」や学びの多様化学校（不登校特例校分教室）第七中学校「はしうち教室」を適切に運営するとともに、大学と連携した不登校児童生徒支援プロジェクト SWITCH や訪問型支援「みらい」を実施し、不登校の児童・生徒を支援します。また、学校における教室以外の居場所での支援の充実を図ります。

◇ コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働本部との一体的推進（基本計画事業 No.22）＜教育部＞※拡充 6,900万円

様々な活動を通じて地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支える体制を整備します。各校において地域学校協働本部を活用し、部活動や学習支援の充実を図ります。また、地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入と地域学校協働本部との一体的推進を図ります。

令和6年度は、コミュニティ・スクールの更なる導入を進めます。（新規：小学校9校・中学校3校、合計：小学校11校・中学校4校）

◇ 小・中学校施設の整備（基本計画事業 No.24）＜教育部＞ 15億400万円

不足教室対策として、若葉小学校及び第四中学校の施設一体型整備の実施に向けたPFI事業者選定を実施するとともに、第一小学校の校舎増築設計を実施し、35人学級編制への対応を行います。

また、児童・生徒の安全な学習環境を維持するため、老朽化している小・中学校施設の改修として、八雲台小学校及び調和小学校で校舎屋上・外壁の改修工事、神代中学校格技棟の全面改修を実施するとともに、小・中学校で、ゼロカーボンシティの推進に向けた校舎内LED化改修工事を実施します。さらに、緊急を要する修繕等に対応します。

- ・学校施設の維持保全：格技棟大規模改修工事（神代中）
校庭整備（杉森小，神代中，第三中）
校舎屋上防水・外壁改修工事（八雲台小，調和小）
給食室の改修設計（第二小）
校舎内照明LED化（深大寺小，石原小，飛田給小，調布中，第七中，第八中）

☆児童・生徒数の増加に伴う施設整備：若葉小・第四中施設整備に向けたPFI事業者選定及びPFI事業の設計業務に対するモニタリング

☆35人学級編制への対応：校舎増築工事設計（第一小）

- ・その他修繕

③ 子ども・若者の健やかな成長と自立を支える

◇ 子ども・若者への支援（基本計画事業 No.26）＜子ども生活部＞※拡充 4,400万円

子ども・若者総合支援事業「ここあ」において、概ね15歳以上の不登校、無業、ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者を対象に、相談による支援や、子ども・若者の居場所を確保するなど、総合的な支援を行います。

令和6年度は、相談者の増加やニーズの多様化等に対応するため、相談員の増員など事業の充実を図ります。

<3> 誰もが自分らしく安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

- 誰もが住み慣れた地域で生活できるよう、地域共生社会の充実を図ります。
- 高齢者が、住み慣れた地域の中で、安心して生きがいをもって暮らし続けることができるよう、高齢者を支える取組を進めます。
- 障害者が安心して地域で共に暮らし、自立した生活をおくることができるよう、障害者を支える取組を進めます。
- それぞれのライフステージや状況に応じた健康づくりに関する取組の充実を図ります。

■主な取組



① 地域福祉を推進する

◇ 地域福祉コーディネーターを中心とする包括的な支援体制の構築

(基本計画事業 No.27) <福祉健康部>

7,300万円

8つの福祉圏域全てに配置した地域福祉コーディネーターを中心として、重層的支援体制整備事業の取組の下、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する多機関協働による相談支援等の充実等を図るとともに、地域における支え合いの仕組みづくりを推進します。

② 高齢者の暮らしを支える

◇ 地域包括支援センターの充実 (基本計画事業 No.29) <福祉健康部>

3億2,800万円

地域包括支援センターを核として、高齢者の包括的・継続的なケアマネジメント支援、地域ケア会議等による地域包括ケア体制の構築に取り組みとともに、多様なネットワークを活用して、介護予防ケアマネジメント、総合相談・権利擁護等の個別支援を行います。

令和6年度も8つの福祉圏域に基づく運営体制により、専門機関等と連携した取組を進めます。また、ちょうふ在宅医療相談室を連携拠点とするほか、地域包括支援センターでの情報提供や連携推進を図ることで、地域包括支援センターや医師会等と連携した在宅医療に関する取組を行います。

◇ 認知症対策の充実 (基本計画事業 No.30) <福祉健康部>

2,600万円

認知症への理解促進や、認知症の方やその家族などへの相談支援を行うため、認知症総合支援事業や認知症初期集中支援事業のほか、認知症徘徊高齢者家族支援サービス事業などを実施します。また、早期発見・早期対応のため、認知症検診を継続します。あわせて、認知症ガイドブックや認知症サポート月間を活用し、認知症に関する啓発を行うとともに、連絡シートや調布市版エンディングノートを配布するなど、認知症になっても安心して暮らせるよう認知症の支援を強化します。

◇ 介護予防・日常生活支援総合事業の展開 (基本計画事業 No.32) <福祉健康部>

5億7,900万円

介護予防・日常生活支援総合事業において、引き続き、介護予防・生活支援サービス事業や、一般介護予防事業など、地域での介護予防の継続的な取組を支援します。また、8圏域全てに配置した地域支え合い推進員や、地域福祉コーディネーターとも連携しながら、地域での支え合いの体制整備を推進します。

総合事業等のサービス事業の整備の一環として、新たな生活支援サービスの担い手の養成を推進するとともに、地域共生社会の充実に向け、地域の方が交流できる拠点(通いの場)の運営支援を行います。

③ 障害者の暮らしを支える

◇ 障害児・者医療的ケア体制支援事業 (基本計画事業 No.34) <福祉健康部>

900万円

医療的ケアを必要とする障害児・者への支援のため、看護職による医療と福祉の両面における相談支援等を実施するとともに、在宅で医療的ケアを要する障害児・者の家族の負担軽減を図るため、訪問看護師が一定時間ケアを代替する在宅レスパイト事業を実施するほか、医療的ケア児を受入れている市内事業所支援員のフォローアップや事業所休業日における一時預かり、送迎等の支援を行います。

◇ 障害者の就労支援 (基本計画事業 No.36) <福祉健康部> ※拡充

1億5,300万円

ちょうふだそう及びびこころの健康支援センターにおいて、障害者が一般就労し、安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面及び生活面の支援を一体的に行い、障害者の就労の促進を図り、障害者の自立と社会参加につなげます。

また、障害者の多様な就労ニーズに対応した訓練プログラム等を行う新たな通所施設「(仮称)ワークライフカレッジすとく」を令和6年4月から開設・運営します。

◇ 重度障害者施設の整備（基本計画事業 No.39）＜福祉健康部＞※拡充 4億8,000万円

医療的ケアを含む重症心身障害者や重度知的障害者も受入れ可能な施設の整備を進めるとともに、安定した運営が行えるよう支援します。

重症心身障害者の通所施設として、「(仮称)デイセンターまなびや国領」を令和6年4月から開設・運営するとともに、調布基地跡地を活用した福祉施設の整備に向けて、三鷹市、府中市、調布市の3市で連携した取組を行います。

④ 健康づくりを推進する

◇ 総合的ながん対策の推進（基本計画事業 No.44）＜福祉健康部＞※拡充 6億6,700万円

がんの早期発見、早期治療を促すことにより、がんによる死亡者数の減少等を図るため、がん検診を充実するとともに、がんに関する相談・支援体制を整備します。

各種がん検診の充実や普及啓発に取り組むことと併せて、市民に分かりやすく効果的ながん検診を実施するための体制整備について、令和5年度に引き続き、学識者を含めた検討会を行います。子宮頸がん検診については、受診勧奨やHPVセルフチェック検査、HPVワクチン定期接種の推奨を行うとともに、男性に対するHPVワクチン接種費用の補助を開始します。さらに、がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の充実を目指し、がん患者に対するウィッグ等の購入費用助成を拡充することと併せ、引き続き、若年がん患者に対する在宅療養支援を実施します。また、令和5年10月から調布スマートシティ協議会における活動の一環で試行実施している取組を、市のモデル事業「がん相談サポート事業（がんポータル・相談サービス）」として開始するとともに、調布市医師会・慈恵第三病院等との連携によるがん患者・家族支援施策に関する検討を継続します。



<4> にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト

- 利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある都市空間の創出，地域の特性を生かした魅力ある市街地の形成を図ります。
- まちの回遊性を高め，歩いて楽しいまちが形成されているとともに，映画やスポーツなどの地域資源を生かし，まちの活性化を図ります。

■主な取組

① まちの活力を生み出す都市をつくる



◇ 調布駅前広場の整備（基本計画事業 No.74）<都市整備部> 10億5,000万円

京王線連続立体交差事業により鉄道が地下化された調布駅前広場を南北一体的に整備し，交通結節点としての機能を向上させるとともに，にぎわいや交流，うるおい，やすらぎのある都市空間を創出します。

令和6年度は，整備工事，南側上屋工事及び広場口工事等を進めます。

◇ 鉄道敷地の整備（基本計画事業 No.75）<都市整備部> 6億3,400万円

京王線の地下化により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し，市民交流やにぎわいの創出など，各ゾーンの特性を生かしながら鉄道敷地の整備を推進します。

令和6年度は，緑道の工事等を進めます。

◇ 東部地区における交通環境の改善（基本計画事業 No.84）<都市整備部> 8,500万円

つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺における道路交通の円滑化を図るため，都市計画道路の整備や道路と鉄道の連続立体交差事業の促進により，地域の利便性や安全性の向上を図ります。

令和6年度は，東部地区における交通環境の改善に向けた検討調査等を行います。

◇ 道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成（基本計画事業 No.83）<都市整備部> 15億9,500万円

調布市道路網計画に基づき，都市計画道路の整備を計画的に推進し，交通機能の向上を図ります。あわせて，市民生活に密着し，防災性・快適性・コミュニティの向上を図る生活道路について拡幅整備を進めます。

・都市計画道路の整備

- ・調布3・4・8号線（柴崎駅南～品川通り） 測量
- ・調布3・4・9号線（金子地域福祉センター先）用地取得・測量・設計等
- ・調布3・4・11号線 測量
- ・調布3・4・21号線（つつじヶ丘駅南）工事
- ・調布3・4・26号線（三鷹通り：旧甲州街道～甲州街道） 工事
- ・調布3・4・26号線（布田南通り：布田駅前～旧甲州街道） 工事
- ・調布3・4・28号線（蓮慶寺通り） 工事等
- ・調布3・4・31号線（西調布駅～品川通り） 測量・設計等
- ・調布7・5・1号線（旧甲州街道）設計

・計画検討路線の検討

- ・調布市道路網計画の改定に向けた検討

・生活道路の整備

- ・市道S45(南13)号線用地取得
- ・市道S104(南25-4)号線用地取得・工事
- ・市道S74(南26)号線用地取得
- ・市道S146(南137・140)号線用地取得
- ・市道S154(南148)号線用地取得・工事
- ・市道S117(南199)号線用地取得・工事
- ・市道N80(北48)号線用地取得
- ・市道N528・N528-3(北165・165-13)号線用地取得



② にぎわい・交流のあるまちをつくる

◇ 地域経済活性化の推進（基本計画事業 No.57）＜生活文化スポーツ部＞ 1億900万円

調布市商工会の運営支援を通じて、市内事業者の支援に連携して取り組むほか、商店会のイベント事業や商店街の環境整備等の経費の一部を補助することにより、調布のまちの魅力向上やにぎわいの創出につなげることで、地域経済活性化を推進します。

また、社会情勢や基礎調査（令和5年度実施）の結果を踏まえ、多様な主体との連携を通じて、産業振興における市の現状・課題等を体系的に整理・分析し、地域経済活性化に向けた取組の指針となる「（仮称）産業振興プラン」の策定に取り組みます。

◇ 「映画のまち調布」の推進（基本計画事業 No.64）＜生活文化スポーツ部＞ 1,100万円

映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援や市民・団体等が実施する映画イベントの支援・協力、「高校生フィルムコンテスト」等の世代に合わせた調布市独自の事業を実施します。また、イオンシネマ シアタス調布のプレアド（映画上映前の広告）を活用したPR、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチョウ」の活用、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」における体験型ワークショップなど、「映画のまち調布」ならではの取組を展開します。

◇ 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進（基本計画事業 No.65）＜生活文化スポーツ部＞ 600万円

名誉市民・水木しげる氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりに生かす取組について、水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して展開します。

また、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につなげるため、新たな事業展開や水木氏の作品に触れる機会の創出に注力することで、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持ってもらい、認知度向上による新たなファン層の獲得を図ります。

令和6年度については、新たな取組として、天神通り商店街内のトランスボックスに、水木作品を活用したデザインラッピングを実施します。

深大寺老人憩の家跡地の利活用に向けては、水木作品を活用した利用方法の具体化を進めるとともに、土砂災害特別警戒区域の解除を目的とした土地造成工事を行います。

◇ 文化芸術事業の実施（基本計画事業 No.66）＜生活文化スポーツ部＞ 12億4,200万円

文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場での音楽、演劇、映画などの鑑賞及び参加型の事業を実施します。

令和6年度は、文化芸術の振興を通じた共生社会の充実に向けた取組として

“パラハートちょうふ meets ART”を実施します。パラアート展を核として、福祉団体、民間事業者、文化・コミュニティ振興財団など多様な主体との連携の下、パラハートちょうふの更なる啓発に努めます。

また、（仮称）調布市文化芸術振興ビジョン策定に当たり、関連団体へのヒアリングや市民意識調査等の市民参加の実施及び検討委員会による検討を通じて、取組を推進します。

◇ 東京2020大会等のレガシーの継承・発展（基本計画事業 No.50）＜生活文化スポーツ部＞ 1,000万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機としたスポーツ振興施策を進める中で構築してきた、様々な主体との連携をより強化し、各団体の強みを活用した事業を展開するなど、様々な角度から市民スポーツの振興を図ります。また、パラスポーツの振興を通して、障害理解の促進や障害当事者の運動機会の創出を図り、共生社会の充実を目指します。

令和6年度は引き続き、応援アスリート事業や他自治体との連携によるスポーツ振興に取り組むとともに、多様な主体との連携による更なるパラスポーツの振興を図ります。

また、パリオリンピック・パラリンピックに関する取組のほか、東京都をはじめ、関係機関と連携した取組を推進します。

パラハートちょうふ
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

<5> 人と自然がおりなすうるおいあるまちをつくるプロジェクト

- 環境保全に対する意識を一層高めるとともに、脱炭素や循環型社会の形成を進めます。
- ふるさと調布の大切な財産である緑と水辺環境を守り育て、自然と共生した環境を次世代に継承します。
- 地域固有の景観資源や、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組を推進します。

■主な取組

① 脱炭素・循環型社会を形成する

◇ 地球温暖化対策の推進（基本計画事業 No.89）<環境部>※拡充 1億1,300万円

脱炭素社会の実現に向けて、「調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）」に基づき、率先して地球温暖化対策に取り組みます。また、家庭・事業所など民生部門の脱炭素化の促進に向け、補助事業や周知啓発活動に取り組みます。

令和6年度は、市の率先的な取組として、公共施設で使用する電力の再生可能エネルギー100%電力への切替えや市民向け電気自動車充電設備の整備を行うほか、家庭や事業所の脱炭素化に向け、省エネ設備等の導入に対する補助事業やゼロカーボン特集した広報紙等による周知啓発活動に取り組みます。また、市民・事業者等で構成するオール調布の連携組織として、「(仮称)ゼロカーボンシティ調布推進協議会」を設置し、更なる省エネ・再エネ導入促進策を検討するとともに、次期調布市地球温暖化対策実行計画策定に向けた準備を進めます。

◇ ごみの減量と資源化（基本計画事業 No.94）<環境部> 7,600万円

ごみ減量・分別の啓発や自主的なごみ減量・資源化の取組を支援し、市民、事業者による3Rの推進を図ります。

令和6年度は、ごみリサイクルカレンダー、広報誌「ザ・リサイクル」の全戸配布やごみアプリの活用を通して、発生抑制を最優先にごみの減量及び再利用の促進に引き続き取り組むほか、生ごみ処理装置等の購入費用の補助を実施します。また、新たに生ごみ資源化モデル事業を実施します。

② 豊かな水と緑を大切に守り生かす

◇ 都市農地の保全・活用（基本計画事業 No.62）<生活文化スポーツ部> 800万円

農地が持つ防災や環境保全などの多面的機能をより一層発揮させるとともに、都市農地の賃借を促進するなど、貴重な都市農地の保全・活用を図ります。

令和6年度は、引き続き、「未来に残す東京の農地プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援に取り組むとともに、JAマインズやトリエ京王調布等と連携した「マルシェ ドゥ 調布」を開催します。

また、農業振興計画について、計画期間の中間年を迎えることから、これまでの取組実績を踏まえ、今後の計画期間における取組内容を見直す改定を行います。

市民農園については、2園が閉園となりますが、新たに2園（うち1園は一部を滝坂小学校学童農園として活用）を設置します。

◇ 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用（基本計画事業 No.93）<環境部>※拡充 3億8,100万円

深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に基づき、貴重な里山環境が残る地域の環境資源の保全・活用に向けた取組を進めます。

令和6年度は、深大寺・佐須地域の公有地を活用して農業体験等の自然体験型の環境学習を実施するほか、同地域の農業用水路の測量・現況調査を実施します。

また、深大寺・佐須地域農業公園を開園します。



◇ 公園・緑地、崖線樹林地の保全（基本計画事業 No.91）＜環境部＞※拡充 5億9,700万円

市民や団体による保全活動への支援や人材の育成などにより、協働による公園・緑地、崖線樹林地の維持保全を進めるとともに、市民が安全に安心して公園を利用できるよう公園施設長寿命化計画に基づき計画的な維持保全を行います。

令和6年度は、公園施設（遊具等）の維持保全を図る設計・工事、公園トイレの老朽化に対応し、設計・工事を行います。また、西調布・飛田給の駅前や市内各地で、市民や事業者との協働による花いっぱい運動を引き続き推進します。

その他、土砂災害特別警戒区域等における崖線樹林地等整備に向けた測量・地質調査・基本設計を実施するほか、公園等の樹木診断を行うなど、市民の安全・安心と憩いの緑の確保に努めます。

◇ 公園・緑地等の整備（基本計画事業 No.92）＜環境部＞※拡充 1億8,300万円

公園の配置状況や市民の利用ニーズを踏まえ、公遊園の整備や既存の公園・緑地等の再整備を推進します。

令和6年度は、機能再編整備プランに基づき、多摩川市民広場周辺区域の施設整備工事と凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺区域の用地買戻し、設計、整備工事を実施します。

③ 良好な景観を創出する

◇ 深大寺地区におけるまちづくりの推進（基本計画事業 No.79）＜都市整備部＞ 2,300万円

風情ある街なみ景観の維持、保全を図るとともに、地域資源の活用によるにぎわいの創出や地区の回遊性を高めるため、深大寺地区のまちづくりを推進します。

令和6年度は、令和7年度からの第四期街なみ環境整備計画の策定に向けた検討のほか、深大寺白鳳院の建設を見据え、来街者の安全な動線の確保等の周辺環境整備に向けて、市道C5（主要市道5）号線（深大寺通り）の整備を進めます。

